（6面から続く）

会を進めていきます。今年、墨田支部から一人「建築カレッジ」に入学しました。建築カレッジは建築技術・技能習得の訓練学校です。若者の建設産業離れが続いている中、物作りの楽しさを教え、未来の建設産業を担っていく人材・後継者を育てています。跡継ぎや建築に興味を持っている人に声をかけましょう。

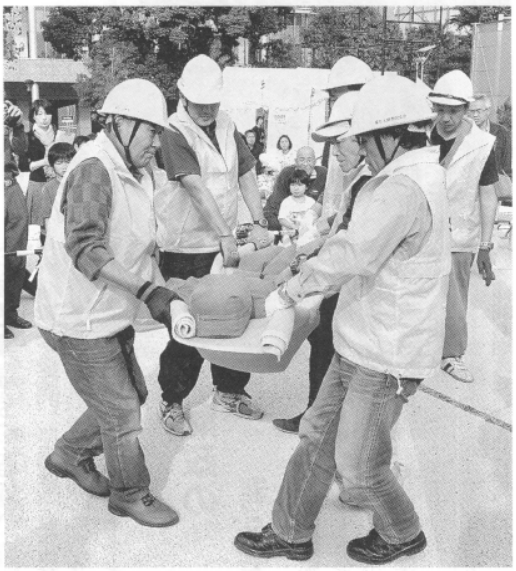
（4）地域支援活動

①燃えない壊れないまちづくり

墨田区は高齢化の進む地域において、建物の安全確保及び福祉・医療・環境など、生活に関わる地域の様々な課題の解決を図ることにより、地域コミュニティの担い手である「ひと」が住み続けることのできる環境の実現を目指しています。建物の不燃化、耐震・防耐火・バリアフリー改修の支援などを実施し、燃えない壊れないまちづくりを推進して、「災害に強い街の実現」を目指す事業「すみだ燃えない壊れないまちづくり会議」を立ち上げました。墨田支部はNPO法人すみだささわやかネットを通じて参加をしていきます。

「墨田区耐震補強推進協議会」は、区内建設四団体で設立して六年目を迎え、その活動も広く知れ渡ってきました。墨田支部は協同組合すみだ建築センターが中心となって活動をしています。地域住民の命と住まいを守る活動として、今年度もさらに取り組みを発展させていきます。

山﨑区長も来場した耐震協主催の耐震フォーラム



区民に披露した応急救助実演（住宅まつり）

②地域防災活動と防災組織づくり

東日本大震災以降、自治体をはじめとして町会、企業などで、災害・防災に対する意識が高まっています。墨田支部では昨年、災害に対するマニュアル策定と組織作りの検討会議を開催し、基本的な方針を確認してきました。今年度は、災害対策方針の具体化を進めていきます。災害時に備えての事前対策として、組合事務所の設備点検・安全確認、備蓄品・資機材の整備と保管、防災教育と訓練等を進めていきます。また災害時の体制と任務分担や役割など、災害時の組織体制を整え、初動対応・緊急対応に備えます。書記職員の行動については、避難計画・書記職員の帰宅計画など、行動マニュアルを作成していきます。

地域復興支援活動として、近隣の対策、防災協定による活動、地域組織との協働の活動についてのは作成を進めていきます。また墨田区との防災協定については、協定内容を改善していく方向で墨田区と協議し、災害支援組織の強化を図り、町会、自治会と連携した活動に発展させていきます。

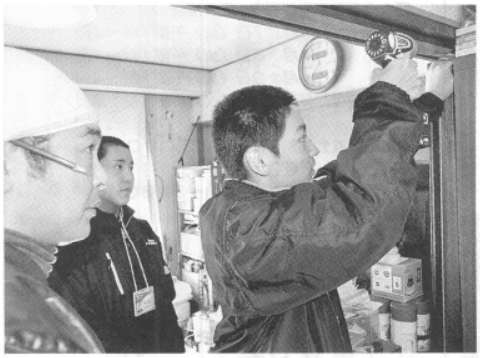
③住み続けられるまちづくりと新しい公共事業

墨田支部は地域社会に根づく「地域建設産業」の視点から、「住宅デー・住宅まつり」やボランティア活動など、住民支援活動を続け、地域社会再生という課題を受け止め、「住み続けられるまちづくり」や「高齢者と住宅」をテーマに活動を進めてきました。

墨田支部では地域の生活や住まいに対する要求と様々な問題を解決していくために、NPO法人すみだささわやかネットを設立し、活動を行ってきました。さわやかネットは相談活動を中心に行っていますが、自治体からも関心が寄せられ、墨田社会福祉協議会と連携した取り組みや、墨田区が東京都に申請した、新しい公共事業の「安心居住の拠点となる『寄合い処』まちづくり事業（すみだ燃えない壊れないまちづくり会議）」の参加団体として運営に参加しています。

今年度も墨田社会福祉協議会で行っている「小地域福祉活動・ふれあいサロン」の地域活動、墨田区の「まちづくり事業」の活動を協働の取り組みとして行います。また、さわやかネットが継続して行っている「相談事業」の充実を図り、地域に住む人が安心して住み続けられる社会の実現をめざして活動を進め、地域経済の発展と、墨田支部が進めている地域建設産業活性化を構築していきます。

墨田区総合防災訓練にも参加



中学生の職場体験も行なった
家具転倒防止事業

（5）協同組合すみだ建築センターの取り組み

二〇一二年度も共同計算事業・共同受注事業・労働保険事務組合業務の三つの事業を柱に運営を進めていきます。協同組合すみだ建築センターは、東京土建墨田支部の産業対策の運動に欠かせない役割を担っています。東京土建墨田支部の方針と連動を実践的に展開し、墨田支部の組合員・組合内事業所からの要求に応えられる運営を継続的に行っていきます。また協同組合すみだ建築センターは、共同受注事業の再編を行い、昨年度から新しい体制と新しい発注システムで運営を始めました。

墨田支部では災害対策のマニュアル策定と、災害対策方針の具体化を進めています。協同組合すみだ建築センターは、災害時の被害を最小限にとどめるために、防災（減災）を目的とした墨田区の助成事業である家具転倒防止事業・無料耐震相談事業の受託団体として、行政や区民の期待に応える活動を行っていきます。この活動を通して、組合の社会的役割を果たし墨田支部の災害対策方針の具体化をはかっていきます。

（6）組織建設の取り組み

①支部・分会組織確立

墨田支部の役員選出の現状は、運動の前進に対し組織の実力が追いついてないところにあります。墨田支部の運動を進めていく上で、組織の「要」である支部・分会の役員確保を柱に、組織確立を進めていきます。昨年まで進めてきた組織再編により、現在、分会数は八分会となっています。墨田支部では一一の専門部・委員会が機能しています。常任執行委員の選出は全分会からお願いしていますが、全分会から選出されたとしても定数を満たしていません。支部役員の選出に当たり、分会から複数の選出も進めていきます。

一定の分会組織再編が確立され、今年からは群組織の確立を進め、組合員の結集を強化することが重要となります。東京土建の基礎組織は群であり、組合員が結集するところも群であります。群の確立・強化を行い、運動の前進や仲間の要求に応えることができる組織づくりを進めていきます。また支部直属の組合員の地域分会への再編や、事業所分会設立の検討も始めます。

未来の組合運動の中心に立つ役員候補として青年部の活動は重要です。青年部の再構築を目指して、多くの青年層が働いている事業所や親方などに、東京土建の運動、青年部活動の理解を求め、青年部の確立を進めます。支部役員の選出は、後継者対策部では東京土建の運動の中心的存在となる人材の育成をすすめ、東京土建の運動の歴史や活動の経過を学び、

（8面へ続く）